

# 道院だより

No.14

金剛禪総本山少林寺 埼玉北浦和道院

2009年 11月27日(金) 発行

文責 道院長 梶谷 憲 皇

合掌

## 大人の責任・・・。

前回紹介した拳士のお母さんから、下のようなお返事をメールにていただきました。

道院だより、拝読いたしました。本人は照れておりましたが、とても嬉しそうです。

私も、先生の書かれていた、人は誰でも本来「良く在りたい」と願っているもの、という事を日々感じながら、子供たちをみておりました。ただ、思春期の入口に立って、なかなかそれを素直に出せなかったり、またちょっとしたことに傷ついて臆病になったりして、その願いが真っすぐに届く場所を見つけるのはなかなか大変なことだな、と感じておりました。なので、今回の昇級試験での姿を見て、自己が認められる、という体験がこんなにも子供の心を動かすのだ、と、この様な機会を持てたことを本当に感謝いたしました。

今後とも、この気持ちを忘れず、しっかり自分を見つめながら精進してほしいと思います。

私は、次のような返事を送りました。

メールありがとうございます。

おっしゃる通り、思春期にさしかかった子供は、とても難しいですね。しかし、この複雑な時期が、私達がそうであったように、子供から大人になるために大変重要な時期でもあります。私も小学校の教員を務めて、今年で20年目になりますが、思春期の入口に立った子供たちと接する中で思うことは、私達大人が、大人として、子供たちに対して、真剣に、責任感を持ちながら接しているということ、誠実に示していくことが大切なのではないかということです。子供の言葉に耳を傾けながら、良い事は良い、正しい事は正しい、間違っていることは間違っている、そういうことを、自分の考えとして、子供たちにしっかり示していくことが大切なのではないかと。時には声を荒げて言うこともあるでしょう。しかし、それが、単に自分のプライドが傷つけられたとか、自分の立場を守るためにどなったとか、そういうことではなくて、本当に、その子のことを、その子の在り方を正していきたい、そういう気持ちで、真剣に表現した言葉は、確かに伝わる、そんな気がします。子供とぶつかることを恐れないなと思っています。

ただ、私も学校や家ではそうしていますが、道院では、今までは、前道院長の小坂先生の代理として期間が長かったので、あくまで補佐役としてやってきたため、そこまで強く指導を入れられていません。ただ今、少しずつ「梶谷色」を出しつつあるというところです。そんなわけで、今後とも、道院運営を見守っていただき、ご協力いただければと思います。よろしく願い致します。

「最近の若い人は・・・。」私もそんな言葉を、いつの間にか使うような年齢になってしまいました。40歳を過ぎて、最近思うのは、若い世代の在り方を責める前に、自分の、大人としての、責任ある社会人、教育者としての在り方を、もっと真剣に考えないといけないなということです。「子は親の背中を見て育つ」といいます。これを社会に広げれば、「若者は、社会の大人の背中を見て育つ」ということが言えるのではないのでしょうか。つまり、新しい世代は、常に、その上の世代を見て成長しているのです。もし、今の若い世代に問題があるとしたら、それは私達、古い(?)世代に、責任があるということなのではないかと思うのです。

〒350-0201 埼玉県北浦和市長沼町1-1-1 少林寺

5/28

拳士会

# 「子は親の鏡、親は子の鑑」

「鏡」とは、姿かたちそのものを写すものです。「鑑」とは、手本とか模範という意味です。つまり、子供の姿は、大人の姿をそのまま写しているということであり、子供あるいは若者の“在り方”は、大人である私達自身の“在り方”でもあるということなのです。そして、「鑑」である私達大人や親は、子供や若者に対して、手本として、模範として、人としての“在り方”を示していかなければいけない、そういう責任を負っているということなのです。

小さい頃、「ああいう人になりたい」という、人生の目標のような人がいました。その人を常に自分の理想としてイメージしながら、いろんなことを考えてきたように思います。つまり、その人だったらどう行動するだろう、どう判断するだろうと。一種の「価値基準」として、自分の中に人格化させてきたのでしょう。時が過ぎ、社会の中核となりつつある私達の年代は、そろそろ、子供たちの、若者たちの、目標となるにふさわしい人格なり、力なりを備えていなければいけないのかな、そんな気がします。また、これから、社会の担い手となっていく青少年の方々には、自分の在り方を明確に確立できるまでは、自分の目標とする人や尊敬する人を自分の中に持つこともいいのかなと思います。

私にとっての、今の行動の価値基準は、少林寺拳法の“教え”です。事あるごとに、少林寺拳法の拳士として、どう行動しているかということ自分を問いかけるようにしています。“実践すること”はなかなか難しいことですが、“意識すること”で、行動は少しずつ変わっていきます。大切なのは、自分がどう在りたいかと、常に考えることだと思います。

結手

## 連 絡 事 項

### ① 冬の練習の服装について

11月になり、夜はめっきり冷え込むようになってきました。そこで、冬の練習時の服装についてお知らせします。練習時、道着の下に、アンダーシャツ等、着てもかまいません。ただし、練習の妨げにならない程度の服装にしてください。

### ② 連絡網について

私のパソコンへのアドレス送信ありがとうございます。まだの方、早めをお願いいたします。また、欠席の連絡ですが、私の携帯の方へ連絡いただければと思います。

梶谷パソコンアドレス

梶谷携帯アドレス

### ③ 新春法会について

年明けの1月16日(土)に、第一教区、さいたま市内の少林寺拳法道院支部合同の「新春法会(ほうえ)及び鏡開き」を行います。午前9時から午後3時くらいまでの予定です。豚汁や昼食もです。白での餅つきも行います。参加費については道院の方で出しますので、人数確認のため、下記の用紙を提出ください。また、当日、豚汁作りや餅つきのお手伝いができる保護者の方おられましたら、記入いただければと思います。

.....切.....り.....取.....り.....

新春法会に参加( します ・ しません )

拳士氏名 \_\_\_\_\_

お手伝いできる保護者の方、ご記入ください。

氏名 \_\_\_\_\_